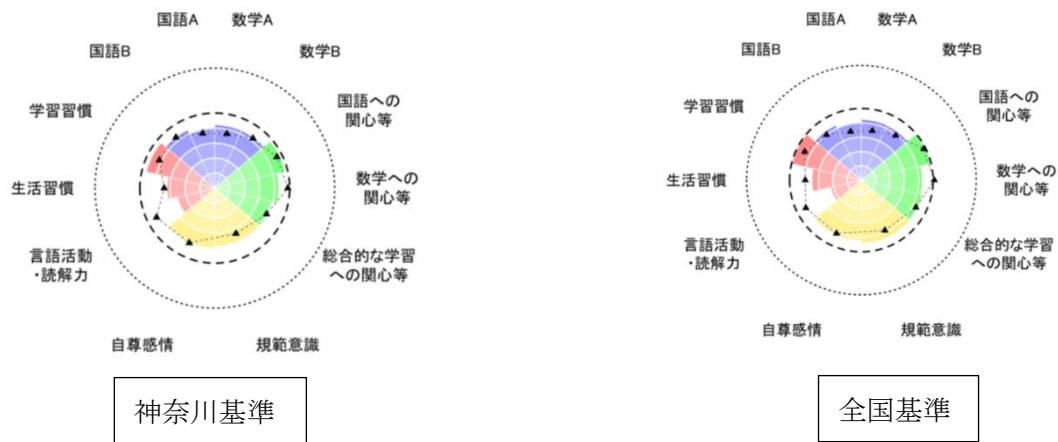


平成28年度 全国学力・学習状況調査（大鳥中の結果）

4月19日に、3年生を対象に実施された全国学力・学習状況調査の結果概要をお知らせします。

平成28年度の調査結果に、昨年度実施した調査結果を重ねたグラフ



(※黒三角・黒破線は昨年度の調査結果を示す。)

●全国の正答率と比較して結果に特徴のある主な問題

国語A「全国よりもポイントが上回った問題」

- ・適切な語句を選択する。(白羽の矢が立つ)
- ・答えの文章を直した意図として適切なものを選択する。
- ・伝えたいことを明確にするために付け加える言葉として適切なものを選択する。
- ・文章について説明したものとして適切なものを選択する。
- ・資料集を活用するときの留意点を説明したものとして適切なものを選択する。

「全国を20ポイント以上下回っている問題」

- ・漢字を書く(家の庭に花をウエス)

「全国と同様に課題がある問題」

- ・文脈に即して漢字を正しく書く(ドクソウ的)

「無回答率が高かった問題」

- ・文脈に即して漢字を正しく書く(ドクソウ的)

国語B「全国よりもポイントが上回った問題」

- ・情報カードにまとめる内容として適切なものを選択する。

「無回答率が高かった問題」

- ・図鑑の説明を読むことで、よくわかるようになった物語の部分と、その部分についてどのようなことが分かったかを書く。

数学A「全国よりもポイントが上回った問題」

- ・5分の2×0.6を計算する。
- ・一枚の硬貨を投げた時の確率について、正しい記述を選ぶ。
- ・証明の必要性和意味を理解している。

「全国と同様に課題がある問題」

- ・与えられた方法で作図された直線についていえることを選ぶ。
- ・反比例のグラフから式を求める。

「無回答率が高かった問題」

- ・反比例のグラフから式を求める。
- ・一次関数の事象を式で表す。

数学B「全国よりもポイントが上回った問題」

- ・当てる方法を変えるとき、新しい数当てゲームの新しい手順を完成することができる。

「全国と同様に課題がある問題」

- ・文字を使って手順通りに求めた数から最初に決めた数を充てる方法を説明する。

- ・ $x = 4$ の時、 $y = 9$ になるように、 $x$ と $y$ の間の関係を書き加えることについて、正しい記述を選び、その理由を説明する。

- ・25.5cmの靴が貸し出された回数の相対度数を求める式を書く。

「無回答率が高かった問題」

- ・25.5cmの靴が貸し出された回数の相対度数を求める式を書く。

●生活習慣・学習習慣(質問紙調査結果)(%)

	大鳥中	神奈川県	全国
友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか。 (「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」)	59.4	51.5	50.2

普段何時ごろ寝ますか。(午後11時より前)	15.3	32.4	36.9
学校の授業以外に普段(平日)、1日当たりどれくらいの時間勉強をしますか。(塾も含む)(2時間以上)	43.2	43.2	34.2
学習塾で勉強をしていますか。(通っていない)	17.1	25.7	38.9
学校の授業以外に、普段(平日)、1日あたりどれくらいの時間、読書をしますか。(30分以上)	35.1	26.8	28.8
家で学校の授業の予習をしていますか。(「している」「どちらかといえばしている」)	49.5	39.2	34.2
学級会などの時間に友達同士で話し合っただけで学級の決まりなど決めていると思いますか。(「そう思う」「どちらかといえばそう思う」)	11.7	77.7	78.4
今住んでいる地域の行事に参加していますか。(「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」)	53.1	38.6	45.2
地域のボランティアに参加したことがありますか。(ある)	45.9	46.3	48.7
1,2年生のときに受けた授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか。(「当てはまる」または「どちらかといえば当てはまる」)	36.9	73.8	77.8
1,2年の時に受けた授業の中で目標が示されていたと思いますか。(「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」)	56.7	78.0	84.9

・全国値と比べて、授業で、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと考える生徒が少ない。

・全国と比べて、授業で、生徒の間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えていたと思う生徒が少ない。

・全国値と比べて、授業で扱うノートに、学習の目標(めあて、ねらい)とまとめを書いていたと思う生徒が少ない。

・全国値に比べて、先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないことについて、わかるまで教えてくれると思っている生徒が少ない。

・全国値と比べて、地域の行事に参加している生徒の数は多い。

### ●授業改善に向けて

・学習への意欲・関心は各教科とも比較的高く、学習の意義を理解している生徒の割合も高い。また、授業以外で、学習に取り組む(塾も含む)時間も全国平均と比較して高い。しかし、正答数分布をみると、依然として基礎基本の定着に課題がある生徒が多い。また、生徒間で話し合う活動により、自分の考えを深めたり、広げたりできていると感じている生徒の割合が低い。今後の課題としては、生徒の意欲・関心を継続的な学習につなげ、より基礎・基本の充実を図ることであると思われる。そのための手段としては、①授業のはじめに、目標(めあて、ねらい)を示し、課題を明確にすることで、課題解決的な学習の視点を持たせ、達成感をもたせること、②学級やグループの中で課題について話し合う活動を取り入れることによって、学習を深めたり、わからないところを教えあうなどの学習環境づくりをすすめる、③継続的な学習支援として、学生ボランティアの協力も得ながら、授業や放課後等、生徒が気軽に相談できる環境をデザインしていく。

### ●調査結果から

- ・全国値と比べて平日就寝時間が遅い生徒が多い。
- ・全国値と比べて、友達の前で自分の考えや意見を発表することが得意だと考える生徒が多い。
- ・全国値と比べて、授業で、生徒の間で話し合う活動をよく行っていたと考える生徒が少ない。